

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 長野県 】

学校名【 池田町立高瀬中学校 】

1 実践テーマ	I・II・ III ・ IV ・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	2学年 79名 3学年 70名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 (高瀬祭(文化祭) 「ダイバーシティセミナー報告」) ③ その他 (小学生と一緒にボッチャで交流) (2) 地域における活動 ① イベント名 (目指せ! 地域交流 ～みんなでボッチャ大会～) ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	パラリンピックやパラスポーツを題材に、パラアスリートや指導者から経験談、実体験談を伺うことを通して、障がいや多様性の理解を深め共生社会について一緒に考える機会とする。
5 取組内容	(1) 事前学習 (ダイバーシティセミナーの動機付け) 多様性を受け入れることをテーマに、1年次は真島誠さん、2年次は加藤正さんと出会い学んできた3学年は、パラアスリートと共に競技を楽しみながら学ぶことを考えた。そこで長野県ボッチャ協会の強化指定選手高野雅也さんをお招きして、お話を伺ったり一緒にボッチャを楽しんだりする企画を考えた。 高野さんに真剣勝負を挑む場面も企画し、対戦チームを募集した。また、ボッチャ競技の説明スライドを使って、ボッチャについて概要を理解した。 2年生向けには、松本市出身の三澤拓さんに講師をお願いした。給食を食べながら三澤さんのパラリンピック出場の動画を見るようにし、三澤さんの活躍を理解して当日を迎えられるようにした。

パラアスリートとともに学ぼう! 楽しもう!

令和3年度 高瀬中学校ダイバーシティセミナー (ボッチャ編) 開催

日時 7月9日(金) 総合的な学習の時間

講師 高野 雅也 さん
長野県ボッチャ協会所属 長野県強化指定選手

高野さんのプロフィール
長野県出身・・・それ以外は当日伺うことにしましょう。

パラアスリートに挑戦!
高野雅也さんと対戦する代表チームを募集します!
希望者は3人でチームを作って担任の先生に申し出て下さい。希望多数の場合は抽選とします。

14:25 当日入場開始
14:30 ボッチャ開会
開会に際しての挨拶
15:10 代表選手一人との対戦
15:30 ボッチャ体験
16:00 高野選手との対戦
16:10 高野選手との対戦
16:20 終了

(2) ダイバーシティセミナー（講演会当日）

東京オリパラ 2020 の開幕前に実施し、関心を持ってオリパラを観戦して理解をより深めてほしいと考え、7 月上・中旬に実施した。

① 7 月 9 日(金)ボッチャ競技者高野雅也さん講演会及び体験会(3 学年)

高野さんから、ご自身の障がいのことや経験談（困ったこと、つらかったこと、よかった？こと）ボッチャとの出会い、ボッチャの魅力などについて語っていただいた後、希望者による代表チームとの真剣勝負を見ながら、ルールや競技の進め方を理解できるようにした。その後、9カ所 18 チームに分かれて競技を楽しんだ。



② 7 月 12 日(月)パラリンピアン三澤拓さん講演会(2 学年)

三澤さんから障がいに関わる経験談やアルペンスキーとの出会い、魅力について等について語っていただき、生徒からのたくさんの質問に答えていただいで理解を深めていった。



(3) 文化祭での 2・3 年生の講演・体験会参加報告及び 3 学年有志によるボッチャ体験企画の発表と参加チーム募集

(4) 3 学年有志企画によるボッチャ体験と意見交換

① 11/6 町内の皆さんに参加を呼びかけ実施したボッチャ体験



申込みは、一人一台端末 Chromebook を有効利用し、QR コードから受け付け。

② 小学生とボッチャで交流

・ 11/19(金) 会染小学校にて開催

・12/17(金)池田小学校にて開催



6 主な成果

ダイバーシティセミナー後の生徒の感想を一部だけ抜粋すると以下のものであった。

- 「障がいを持って生まれてきてよかったと思っている」と自分に自信を持って言えることがかっこいいと思いました。
- 一般の人から障がい者の方を見たら普通ではないけど、障がい者の方自身から見たら自分もパラスポーツというものを通して、普通に人生を楽しんでいる一人なのだと、今までと今回のダイバーシティセミナーでわかった。

3年生は、1年次に真島誠さん、2年次に加藤正さん、今年度は高野雅也さんと出会って、障がい、多様性や共生社会について考えてきた。特に今年度は高野さんと一緒にボッチャを楽しんだことから、この競技に秘められている願いや面白さを是非地域の皆さんや小学生にも伝えたいと多くの生徒が考えた。そこで、総合的な学習の時間を使い、生徒が主体となって意欲的にボッチャイベントを企画し実践を行う学習へと広がっていった。

- 幅広い世代で、障がいのある人でも誰もが楽しめる“ボッチャ”を池田町の人々に知ってもらいたかったので、町で行うボッチャと小学校で行うボッチャに分かれて活動した。そこで、主には自分たちで企画を考え計画していくことができた。ボッチャ体験を2回行い、1回目に出た反省点を2回目に生かすことができた。
- なぜボッチャを広めていきたいのか、という理由も含めて小学生の皆に伝えることができた。この活動を通して、ボッチャの魅力や楽しさを池田町に広めることができたと思う。小学生の皆がたくさん感想を言ってくれてとても嬉しかったし、やって良かったという気持ちになった。
- スライドを作成することにより視覚で理解してもらおうと一度目は思いましたが、小学生にはそれだけでは理解が難しいところがあったので、自分たちで実際やってみるといった工夫も必要だった。なにかを計画するには、自分たちだけの都合ではうまくいかないの、相手を考え、その上で物事を進めていかなければいけないと学びました。

上の感想のように、高野さんとの出会いから始まった学びは、私たちの想像を超えた学びを子どもたちにもたらしてくれた。

<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>3年生には、希望者を募り、高野さんと真剣勝負して現役競技者の競技力の高さに触れたり、年齢や障がいの程度に関係なく楽しめるパラスポーツの面白さを感じたりする企画も盛り込んだ。対戦希望チームは、数週間前から休み時間に教室で練習を重ねる姿が見られ、学年全体が関心をもってダイバーシティセミナー当日を迎えることにつながった。</p> <p>また、2年生には、三澤さんへの質問をひとり一つは考えておくよう指示をし、関心を引き出そうとした。三澤さんの魅力からセミナーに引き込まれた生徒たちは、時間が不足するほどに次々と三澤さんに質問する姿が見られた。</p> <p>セミナーを終えた3年生に対し、高野さんから教えていただいたボッチャの魅力をいろんな人に伝えてみるのはどうだろうか、と提案したところ、小学生向け、地域の方向けのボッチャイベントを開催してみたい、と多くの生徒が意欲をもった。地域への発信をテーマに取り組もうとしていた総合的な学習の時間のねらいと合致し、活動が広がって学びを深めていくことにつながった。</p>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学年で一斉にボッチャを体験するには、たくさんのボッチャセットが必要になる。かなり早い段階から社会福祉協議会等に相談することにより、ボッチャセットの数を確保することが重要。 ● 新型コロナウイルス感染状況により、講師が非常事態宣言地域からお越しただいて実施してよいか、市町村教育委員会と実施の可否の基準を明確にしておく必要がある。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>障がいについて考えたり、多様性や共生社会を考えたりする上でパラアスリートとの出会いはとても有意義であると考えている。費用等の予算が確保できるのであれば、是非継続して実施していきたい。</p>